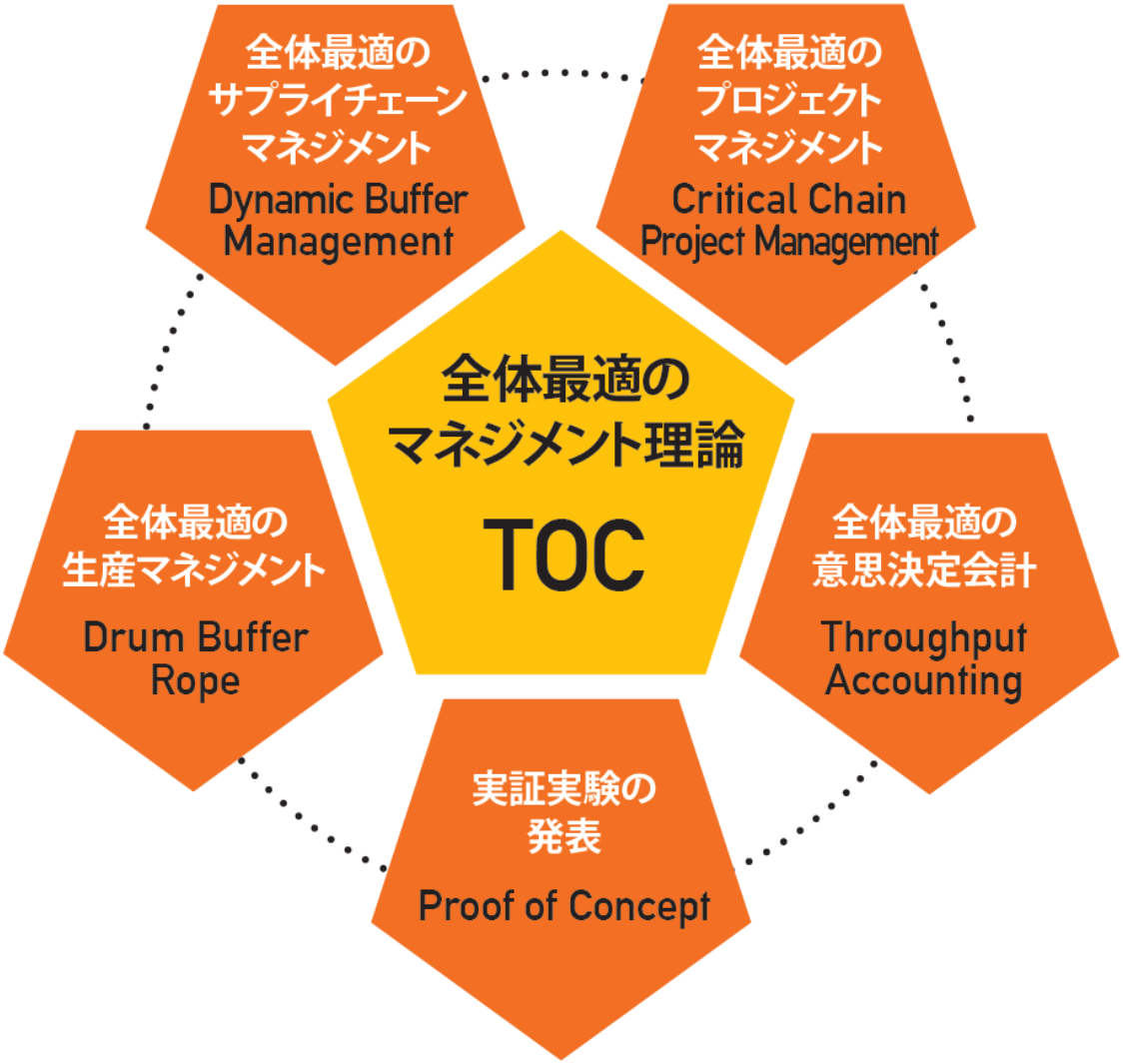
Online

目覚ましい成果を出しながら
全体最適の問題解決を
実践する人財を自社に育てる!

ゴールドラットスクール国際修了証プログラム

Goldratt Certificate for TOC Essentials

ゼロから始めるTOC実践コース



www.goldrattschool.jp

Breakthrough thinking in action

ゼロから始めるTOC実践コース

全世界で1000万人が読み、世界各地の幅広い分野で目覚ましい成功事例を生み出している『ザ・ゴール』。この本の著者エリヤフ・ゴールドラット博士が開発した全体最適のマネジメント理論がTOC (Theory Of Constraints) です。TOCは、開発したゴールドラット博士の意向もあり、20年間近く、その最先端の手法が日本に紹介されることを封印されてきました。この期間も、そして現在もTOCは世界中で進化し続け、生産、サプライチェーン、サービス、プロジェクトマネジメント、行政、組織問題、経営会計、教育など、さまざまな分野に展開され、目覚ましい成果を出し続けています。

多くの方々のご希望を受け、本コースは、TOCをゼロから学び、自ら自社で実践できるようにデザインされています。職場を良くすることを通して、会社を、そして日本をより良くするという志を持つ方々のために、ゴールドラットグループが持つ最新の知識体系、ノウハウをわかりやすく提供します。特別な準備は必要ありません。会社を良くしたい、職場を良くしたいという思いを持ってきていただければ十分です。

オンライン開催としておりますので、日本はもちろん世界中どこからでも最前列で参加いただくことができます。

- ５か月間、トップエキスパートからTOCの実践的知識体系を取得
- 毎回、テーマに沿った事例や理解を深めるワーク
- 学んだことを持ち帰り、現場で実践して成果を出す
- 自社に適用する際の疑問点などを丁寧に指導
- 実践成果報告合格などの要件を満たした方に、Goldratt Certificate for TOC Essentials 国際修了証

第1回で視聴いただく『ザ・ゴール』アニメ映画より

月一回の開催で、理論や公式を学び、事例を通じて理解を深めていただくことで、自社の応用問題を解くことができるようにデザインされています。理論を学び、実践を通して会社に目覚ましい成果をもたらすことのできる人財を育てるのが、このコースの特徴です。講師は、日本を代表する企業のエグゼクティブ出身で、様々な分野で目覚ましい成果を出し続けるゴールドラットジャパンのトップエキスパートが務めます。

参加対象 ● **誰でも参加可**
ＴＯＣは全体最適のマネジメント理論です。全体最適で自分の会社を良くしようという志のある方に参加していただきたいと思っております。 会社の組織をまたがって複数名で参加するとより効果的です。

募集人数 ● **60名**
特別な準備は必要ありません。会社をそして、職場をよりよくしたいという志があれば十分です。
『ザ・ゴール コミック版』、『ザ・ゴール２ コミック版』などを読んでおくと、より理解が深まります。

開催方式 ● **zoomを利用したオンライン形式**

費用 ● **１人19.8万円（消費税込） 分割払い可能！**

参加者の声

コストダウンするよりも、スループットの増大が大切である。赤字商品と思っていた物が実はもうかるかもしれない。（機械メーカー 社員）

必要な時に必要な分だけ必要な場所に！みんな心配症で、一杯作るので、他の場所でも考えを教えていきたい。（精密機器製造 社員）

TOC は科学的なアプローチであり、普遍性、再現性がある公式なので、まずは実践することが重要だと思った。（情報システム 社員）

今は個々の成果をあげる事が常になっているが、「みんなでがんばる」事の意味を改めて考えさせられました。（製造業 社員）

これまでは、改善というと手がつけやすい目の前の課題に取り組んでいて、それが当たり前で良い手段と思っていた。これからは、制約を見つけてそれを解決する事が真の改善に繋がるということを活かしていきたい。（機械販売 係長）

【2024年春 開講スケジュール】

第1回　2024/04/12（金）
第2回　2024/05/10（金）
第3回　2024/06/07（金）
第4回　2024/07/05（金）
第5回　2024/08/02（金）

【2024年秋 開講スケジュール】

第1回　2024/10/04（金）
第2回　2024/11/08（金）
第3回　2024/12/06（金）
第4回　2025/01/10（金）
第5回　2025/02/07（金）

プログラム概要

ー 計5日：毎月1日 x 5ヶ月 ー

開始時刻は9:00、**終了時刻**は17:00～18:00の間を予定しております

第１回　１日間

全体最適の生産マネジメント－DBR (Drum Buffer Rope)

- 自社の組織について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 『ザ・ゴール』についてあらためて考察する（全体最適のマネジメント理論TOCとは？継続的改善とは？DBRとは？）
- 博士が自ら最も重要な論文と位置付けていた「巨人の肩の上に立って」から生産の本質を学ぶ
  - 生産における二人の巨人と、その偉業の考察
  - 偉大な巨人、大野耐一氏から学ぶべきもの
  - 流れの4つのコンセプト
  - ケーススタディ
- 事例を通して自社での実践を考える（制約を特定する・制約を徹底活用する方法を決める・その他すべてを制約に従属させる・制約の能力を高める・惰性に気を付けながらステップ１に戻る）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第２回　１日間

全体最適のサプライチェーンマネジメント－DBM (Dynamic Buffer Management)

- 経営幹部の立場に立って考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 全体最適のサプライチェーンマネジメント - DBMを学ぶ
  - 過剰在庫と欠品を招く落とし穴
  - 過剰在庫と欠品を解消する新しい考え方の前提
  - なぜ、従来の後補充生産が思ったような成果をもたらさないのか ー 後補充生産とDBMの決定的な違い
  - ケーススタディ
- 事例を通して自社での実践を考える（望ましい状況は実現できそうか？会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第３回　１日間

全体最適の意思決定会計－TA (Throughput Accounting)

- 現在の会計評価指標について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 「スループット会計」とは
  - なぜ、従来の評価指標に現場が違和感を感じるのか、実験を通して考察する
  - 原価会計による意思決定に潜む、落とし穴とは
  - 組織全体にとって、より良い意思決定をするために
  - 従来の指標と対立せず、むしろ相乗効果を出す導入と運用のコツ
  - ケーススタディ
- 事例を通して自社での実践を考える（自社の課題と、解決の方向性について、周囲をまきこむために。会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第４回　１日間

全体最適のプロジェクトマネジメント－CCPM (Critical Chain Project Management)

- 現在のプロジェクト現場について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 「CCPM」とは
  - プロジェクトに潜む落とし穴
  - 実際に工程表を引いてみる
  - 現場にゆとりとチームワークをもたらす5つのステップ
  - ケーススタディ
- 運用の仕方について学ぶ（良い遅れと悪い遅れとは？不確実性に対処する先手管理運用方法）
- 事例を通して自社での実践を考える（どのプロジェクトで実証実験するべきか？会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第５回　１日間

実践に欠かせない周囲の協力：「いかにして周囲の協力を得るか？」

- 参加者からの実践報告
- トップエキスパートからのアドバイス
- 今までの振り返り
- 「仮説の論理構造」特別セミナー
- 月曜日を楽しみな会社にするために
- 認定証授与（実際の証書は郵送となります）

goldratt SCHOOL

【お問い合わせ】gs-japan@goldrattgroup.com